

おおい

かはら版

vol.54

巻頭言

平成 25 年度に会長を拝命し 3 期 6 年。振り返ると、会員の皆様に暖かく支えていただいた 6 年間でした。

この 6 年間は、地域包括ケアシステム構築を目的とした大きな動きの中で、これまで以上に医療ソーシャルワーカーへの期待を感じた期間でもありました。会長就任直後に、大分県中部保健所を中心に検討が開始された「入退院時の情報共有ルール」の策定において、ルール作りの段階からオブザーバーとして参加させていただきました。このルールはその後、中部保健所圏域のみならず県下全ての地域で運用されていることは皆さんもご承知の通りです。このような取り組みへの協力に端を発し、その後各市町村で進められることとなる「在宅医療介護連携推進事業」へ専門職団体として参画を求められるようになっていきます。また、大分県医療計画策定協議会への参画も行い、大分県地域医療構想及び第 7 次医療計画策定に関わらせていただいた事は協会として大きな出来事でありましたし、私個人としても大変貴重な経験となりました。

これらは、時代の要請であったことが、大きな要因の一つであることに間違いありませんが、野上前会長から引き継いだ業務の一つである「協会の一般社団法人化」が大きな転機であったと考えます。法人化を行う事で、対外的に公的団体と認識されることにより、行政事業への参画へと結びついたと考えています。

災害支援については、東日本大震災の支援活動に参加させていただいた経験から、協会としての対策を行うことが急務であると考えました。まず「災害ソーシャルワーク研究班」を発足させ、災害ソーシャルワークについての研究を行うことから開始しました。その後災害支援部に昇華させ、災害マップや災害対応に関するマニュアルの作成及び、避難所活動のシュミレーション訓練など実践的な訓練も継続的に行ってきました。熊本大分地

震や九州北部豪雨災害、県南地域を襲った台風による水害の際に、迅速に支援活動を開始できたことは協会として災害対策に関する備えを行ってきた成果であったと思います。また実際の支援活動において、社会福祉士会や精神保健福祉士協会の皆様と協働できたことは大分県の災害支援活動においても大きな意味を持つものであったと振り返ります。

研修事業においては、初任者、中堅者といった経験年数や到達段階に応じた研修を、より多くの会員に受講していただける様、研修部を中心に取り組みを行ってきました。その結果、大分県の研修は他県からも参考にして頂ける内容へ洗練されたと自負しております。一方で、研修参加者の減少については有効な解決策を講じることが出来なかったことは大きな反省点です。

時代の流れと共に、医療ソーシャルワーカーに求められる役割は所属組織を超え、地域へと拡がりを見せています。

これからも医療ソーシャルワーカーが患者さんの光となり、専門職として、地域で輝き続けることができるよう、違う立場ではありますが全力でお手伝いを続けていきたいと思っています。

最後になりますが、会員の皆様やご支援頂きました関連機関の関係者各位に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。これからも宜しくお願い致します。

会長 井元 哲也



◇おきなわ大会にて

第55回九州医療ソーシャルワーカー研修会

おきなわ大会

平成30年11月23日～24日に沖縄県で九州大会が開催されました。今回は発表者として参加された、大分県立病院 楠元緑さんに参加レポートをお願いしました。

大分県立病院の楠元です。九州大会では頑張っ
て発表までしたのに、報告レポまで広報部から頼
まれ・・・(くすん)。山本さんのお願いは断れな
いので、頑張ります。

沖縄は遠かった！でも美しかった！特に海！観光
できなかったけど、1時間だけビーチにも行って
きた！22日午後ソニックに飛び乗って那覇につ
いたのは19時。よれよれでしたが、脇坂理事に
お誘いもらって、後輩ちゃんと大学のMSWさん
達と沖縄料理食べました～。ビールがうまい！幸
せ！

当日最初は、平田大一さんという沖縄の演出家
の方。講演内容は非常にパワフルで、はちきれんば
かりのエネルギーに満ちた高校生の踊りには思わ
ず感動の涙が。おばちゃん、こういうの弱いだよ。
そして午後の研究発表へ。今回、私は「未受診妊
産婦」をテーマに発表を行いました。発表をする
と決めてから大変でしたが、終わってみればやっ
て良かったなと。鹿児島県協会の身寄り問題は切
実な危機感をもって聞き入ってしまいました。発
表が終わった開放感とともに夜の懇親会へ。井元
会長の胴上げもした後、2次会で大分県のメンバ
ーで盛り上がりました。私も人生初のハブ酒にチャ
レンジしましたよ！

翌日の基調講演は「脱家族化」がテーマでした。
私たちは「キーパーソン」という存在を非常に重
視しますが、「キーパーソン」に過剰な期待を課し
ていないでしょうか？妻だから、子供だから、親
だから当たり前だと私たち支援者こそが思ってい
ないでしょうか？そんなことを感じました。
午後のワークショップではカード方式事例検討法
を使い臨床倫理について学びました。頭使って疲
れたよ～。でも面白かったです。
九州医療ソーシャルワーカー研修会は九州各県の
MSWが集まる非常に貴重な出会いの場であり学び
の場でもあります。皆さんもよかったら来年ぜひ
参加しましょう。



◇会長はじめ参加された協会員の皆さん。会場前にて。
(右端が楠元さん)



研修報告！（初任者研修 11/10、12/8 スキルアップ研修 1/20）

【初任者研修】

第6回 11月10日（土）14時開始 よつばファミリークリニック

研修内容：支援方法論 アセスメントⅠ

講師：大分県MSW協会 中村 賢介

場所：よつばファミリークリニック

第7回 12月8日（土）14時開始 よつばファミリークリニック

研修内容：医療における『家族』の理解

講師：大分県MSW協会 脇坂 健史

場所：よつばファミリークリニック

【スキルアップ研修】

平成31年1月20日（日）10時～16時

研修内容：「スーパービジョン」

講師：医療法人社団輝生会 教育研修局部長 取手 涼子 氏

場所：大分県社会福祉介護研修センター



◇初任者研修「家族の理解」について 脇坂理事
（よつばファミリークリニック）



◇「スーパービジョン」について講義頂いた
取手 涼子先生（大分県社会福祉介護研修センター）

中村理事に誘われて、スキルアップ研修に参加させて頂きました。

”スーパーバイザー”という言葉から敷居が高そうなイメージを抱くのは私だけではないと思います。今回参加させて頂いた取手先生の研修では、日常業務で行っていることが既にスーパーバイズであり、そこに気づかせて頂いたことで、自分の中で”スーパーバイザー”を身近なものとして捉えられるようになりました。具体的な方法、頻度、裏付けされる理論についても学ぶことが出来、実践していく意欲が非常に高まりました。企画運営頂いた研修部の皆さんに感謝です。

広報部 山本

地区意見交換会

西部地区（日田市 九重町 玖珠町）

平成30年11月17日西部地区にて地区意見交換会を開催いたしました。今回は16名の方に参加いただきました。本年度の地区意見交換会も残すところあと1回となりました。各機関のことを知り・理解するよい機会になると思いますふるってご参加ください。

次回は、2/23（土）中部地区にて開催予定です。



◇ご参加頂きました皆さんありがとうございました。

今年も元気フェアに参加しました！



今年も11月11日介護研修センターで行われたげんきフェアに協会として参加しました。

昨年、当協会ブース来場者は35名ほどであった為、今回、クイズの景品（お菓子）を40ほど準備していましたが、10時の開会后、沢山の方がブースに来られ、11時には無くなり、追加調整を行うほどでした。

最終的に、協会ブース来場者は80名程の来場がありました。クイズを楽しんでくれる方や、ソーシャルワーカーの存在について心強く感じて頂いた反応があり充実した一日となりました。

理 事 動 向

<理事動向>

- 11/7 平成30年度薬物関連問題関係機関・団体連絡協議会
- 11/26 平成30年度第3回大分県地域リハビリテーション研究会運営部会
- 12/1 平成30年度高次脳機能障害職種別研修会
- 12/8 多職種連携研修会（大分市介護支援専門員協会）
- 12/9 地方大学と自治体が連携して実現する地域包括ケアシステム
- 12/13 大分県地域包括ケア推進大会
- 12/15 「平成30年度大分県在宅医療推進フォーラム」
- 1/7 東部医療圏医療・福祉関係者会議
- 1/19 平成30年度大分県地域リハビリテーション研究会研修会
- 1/29 大分県慢性疾病児童等地域支援協議会及び
大分市慢性疾病児童等地域支援協議会

<後援>

- 権利擁護・地域生活定着支援セミナー
- 平成30年度大分県在宅医療推進フォーラム
- 第20回日本言語聴覚学会および関連する市民公開講座
「失語症全国大会 in おおいた」
- 大分市在宅医療・介護連携推進事業「市民公開講座」
- 第36回大分県病院学会



NEW FACE (2019年1月末現在の会員数 280名)

竹村 南那 医療法人社団恵愛会 大分中村病院 半澤 浩太 大分三愛メディカルセンター
中道 洋道 医療法人芝蘭会 今村病院 護摩所 優太 大分三愛メディカルセンター